

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : FC リスコート H-17 H9500
 会社名 : 富士薬品工業株式会社
 住所 : 東京都港区麻布台 1-3-12
 担当部門 : 技術管理室
 担当者 : 小林 誠一郎
 電話番号 : 03-3582-8771 FAX番号: 03-3582-8774
 緊急連絡先 : 営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10 03-3557-6201
 大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1 06-6384-1351
 作成 : 2005年5月2日
 改訂 : 2016年4月27日
 整理番号 : 101001008

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

－物理化学的性質－

火薬類	: 分類対象外
引火性液体	: 区分4(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 分類できない
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
有機化酸化物	: 分類対象外
金属腐食性	: 分類できない

－健康に対する有害性－

急性毒性(経口)	: 区分5(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入・蒸気)	: 区分外
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: 区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	: 区分外
呼吸器感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

化学名 :

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	官報公示	CAS No.	備考
ジオール類	10～20	あり	登録済み	
グリコールエーテル類	30～50	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分4 ・急性毒性(蒸気):区分3 ・皮膚腐食性/刺激性:区分2 ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分1
界面活性剤	1～5	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分4 ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機酸類	1%未満	あり	登録済み	
有機塩類	1%未満	あり	登録済み	
硝酸アンモニウム	2	6484-52-2	(1)-395	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1
水溶性樹脂	1%未満	あり	登録済み	
防腐剤	1～3	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分1 ・皮膚腐食性/刺激性:区分1 ・皮膚感作性:区分1 ・生殖毒性:区分2 ・特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分2
水	21～56	対象外	7732-18-5	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。皮膚刺激があれば医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。
少量漏出の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取り扱いは、換気の良い場所で行う。
眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護具を着用する。
- 保 管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。
保管時の温度は5℃以下および 40℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 透明液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 0.977 (25℃)
- 粘度 : 14mPa・S (25℃)
- pH : 3.2 (25℃)
- 水への溶解性 : 可溶

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:90℃(クリーブランド開放式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし。
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激がある。
感作性	:情報なし。
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 3796mg/kg 経皮急性毒性推定値 データなし 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pHの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・名称を通知すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 政令番号第 308 号)

労働安全衛生法・名称を表示すべき危険物および有害物

:硝酸アンモニウム(法第 57 条、施行令第 18 条 政令番号第 16 の 2 号)

労働安全衛生法・有機則 :非該当

消防法 :危険物第 4 類第 3 石油類に該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) :該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

“米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第 5 版)” JETOC(1995)

“危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュブリンガー・フェアラー東京(1991)

“事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省

“職場の安全サイト” 厚生労働省

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製 品 名 :FC リスコート H-17 MPSB

会 社 名 :富士薬品工業株式会社

住 所 :東京都港区麻布台 1-3-12

担 当 部 門 :技術管理室

作 成 者 :小林 誠一郎

電 話 番 号 :03-3582-8771

FAX番号:03-3582-8774

緊急連絡先 :営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10

電話番号:03-3557-6201

:大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1

電話番号:06-6384-1351

作 成 :2013年1月7日

改 訂 :2016年4月27日

整 理 番 号 :1001010002

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

—物理化学的性質—

火薬類	:分類対象外
引火性液体	:区分4(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
自己反応性化学品	:分類できない
自然発火性液体	:分類できない
自己発熱性化学品	:分類できない
水反応可燃性化学品	:分類対象外
酸化性液体	:分類対象外
有機化酸化物	:分類対象外
金属腐食性	:分類できない

—健康に対する有害性—

急性毒性(経口)	:区分外
急性毒性(経皮)	:分類できない
急性毒性(吸入)	:区分外
皮膚腐食性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	:区分外
呼吸器感作性	:分類できない
生殖細胞変異原性	:分類できない
発がん性	:分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

化学名 :

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	官報公示	CAS No.	備考
グリコールエーテル類	15～25	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分 4 ・急性毒性(蒸気):区分 3 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 2 ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1
ジオール類	10～15	あり	登録済み	
ポリオール類	1～5	あり	登録済み	
界面活性剤	1～3	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経皮):区分 5 ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機塩類	1～3	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機酸類	1～3	あり	登録済み	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚腐食性/刺激性:区分 3 ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
水溶性樹脂	3～5	あり	登録済み	
防腐剤	1%未満	あり	登録済み	
水	32～63	対象外	7732-18-5	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さい様お願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。少量漏出の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取扱いは、換気の良い場所で行う。眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用する。
- 保 管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。保管時の温度は5℃以下および35℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 無色透明液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 1.030 (25℃)
- 粘度 : 125mPa・s (25℃)
- pH (25℃) : 4.7
- 水への溶解性 : 可溶

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:63℃(タグ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし。
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激がある。
感作性	:情報なし。
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 5000mg/kg 以上 経皮急性毒性推定値 データなし 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pHの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・有機則	:該当せず
消防法	:該当せず (引火点 63°Cだが、可燃性液体量 40%以下のため)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	:該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

- “米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第 5 版)” JETOC (1995)
- “危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュプリンガー・フェアラーク東京 (1991)
- “事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省
- “職場の安全サイト” 厚生労働省

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製 品 名 :FC リスコート H-17 MPSTO

会 社 名 :富士薬品工業株式会社

住 所 :東京都港区麻布台 1-3-12

担 当 部 門 :技術管理室

作 成 者 :小林 誠一郎

電 話 番 号 :03-3582-8771

FAX番号:03-3582-8774

緊急連絡先 :営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10

電話番号:03-3557-6201

:大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1

電話番号:06-6384-1351

作 成 :2012年3月27日

改 訂 :2016年4月27日

整 理 番 号 :100101102

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

—物理化学的性質—

火薬類	:分類対象外
引火性液体	:区分4(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
自己反応性化学品	:分類できない
自然発火性液体	:分類できない
自己発熱性化学品	:分類できない
水反応可燃性化学品	:分類対象外
酸化性液体	:分類対象外
有機化酸化物	:分類対象外
金属腐食性	:分類できない

—健康に対する有害性—

急性毒性(経口)	:区分5(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
急性毒性(経皮)	:分類できない
急性毒性(吸入)	:区分外
皮膚腐食性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	:区分外
呼吸器感作性	:分類できない
生殖細胞変異原性	:分類できない
発がん性	:分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

化学名 :

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	CAS No.	官報公示	備考
グリコールエーテル類	35～45	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分 4 ・急性毒性(蒸気):区分 3 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 2 ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1
グリコール類	15～25	登録済み	あり	
ポリオール類	1～5	登録済み	あり	
界面活性剤	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経皮):区分 5 ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機塩類	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機酸類	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 1
水溶性樹脂	1～5	登録済み	あり	
防腐剤	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 1 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 1 ・皮膚感作性:区分 1 ・生殖毒性:区分 2 ・特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):区分 2
水	8～44	7732-18-5	対象外	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さい様お願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。
少量漏出の場合は、ウェス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取扱いは、換気の良い場所で行う。眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用する。
- 保 管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。保管時の温度は5℃以下および40℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 無色透明液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 1.010(25℃)
- 粘度 : 24mPa・s(25℃)
- pH(25℃) : 5.3
- 水への溶解性 : 可溶

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいます様お願い致します。

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:72℃(セタ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし。
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激がある。
感作性	:情報なし。
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 3702mg/kg 経皮急性毒性推定値 データなし 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pHの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・有機則	:非該当
消防法	:危険物第4類第3石油類に該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	:該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

“米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第5版)” JETOC(1995)
“危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュプリンガー・フェアラー東京(1991)
“事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成25年度改訂版” 経済産業省
“職場の安全サイト” 厚生労働省

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製 品 名 :FC リスコート H-17 MPSKYO

会 社 名 :富士薬品工業株式会社

住 所 :東京都港区麻布台 1-3-12

担 当 部 門 :技術管理室

作 成 者 :小林 誠一郎

電 話 番 号 :03-3582-8771

FAX番号:03-3582-8774

緊急連絡先 :営業本部 東京都練馬区豊玉北 3-14-10

電話番号:03-3557-6201

:大阪営業所 大阪府吹田市豊津町 22-1

電話番号:06-6384-1351

作 成 :2014年12月18日

改 訂 :2016年4月27日

整 理 番 号 :1001011002

2. 危険有害性の分類

【GHS分類】

－物理化学的性質－

火薬類	:分類対象外
引火性液体	:区分4(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
自己反応性化学品	:分類できない
自然発火性液体	:分類できない
自己発熱性化学品	:分類できない
水反応可燃性化学品	:分類対象外
酸化性液体	:分類対象外
有機化酸化物	:分類対象外
金属腐食性	:分類できない

－健康に対する有害性－

急性毒性(経口)	:区分5(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
急性毒性(経皮)	:分類できない
急性毒性(吸入)	:区分外
皮膚腐食性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	:区分2(ラベル要素の危険有害性情報の項を参照)
皮膚感作性	:区分外
呼吸器感作性	:分類できない
生殖細胞変異原性	:分類できない
発がん性	:分類できない

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

3. 物質の特定

単一製品・混合製品の区別 : 混合物

化学名 :

成分及び含有量 :

成分名	含有率 wt%	CAS No.	官報公示	備考
グリコールエーテル類	35～45	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経口):区分 4 ・急性毒性(蒸気):区分 3 ・皮膚腐食性/刺激性:区分 2 ・特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1
ジオール類	15～25	登録済み	あり	
ポリオール類	1～5	登録済み	あり	
界面活性剤	1～5	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性(経皮):区分 5 ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機塩類	1～3	登録済み	あり	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分 2A
有機酸類	1%未満	登録済み	あり	
水溶性樹脂	1～3	登録済み	あり	
防腐剤	1%未満	登録済み	あり	
水	12～44	7732-18-5	対象外	

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さい様お願い致します。

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。その後、付着または接触部を石鹼水で洗淨し、多量の水を用いて洗い流す。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移して安静、保湿を保ち、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火方法 : 初期の火災には水、炭酸ガス、粉末などを用いる。
- 消火剤 : 炭酸ガス・泡・粉末(ドライケミカル)消火器、水噴霧。

6. 漏出時の措置

- 陸上の場合 : 多量漏出の場合は土嚢等で流出を防ぎ、バキューム等で吸い取る。少量漏出の場合は、ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 取扱いは、換気の良い場所で行う。眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用する。
- 保管 : 凍結、直射日光を避け、室内で保管する。保管時の温度は5℃以下および35℃以上にならないようにする。

8. 暴露防止措置

- 管理濃度 : 管理濃度なし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 情報なし
ACGIH 情報なし
- 設備対策 : 法で定められたものなし。
- 保護具 : 取り扱いには必要に応じて保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護衣を着用する。

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 無色透明液体
- 沸点 : 100℃以上
- 蒸気圧 : 情報なし
- 揮発性 : 情報なし
- 比重 : 1.015 (25℃)
- 粘度 : 40mPa・s (25℃)
- pH (25℃) : 5.8
- 水への溶解性 : 可溶

本データシートは現時点で信頼し得ると考える資料ならびに測定等に基づき作成しております。ご需要家各位での取扱いにおかれましては、これを参考とされて使用条件の実態に即した適切な措置を講じて安全にご使用して下さいますようお願い致します。

10. 危険性情報(安定性・反応性)

引火点	:72.0°C(セタ密閉式)
発火点	:測定データなし
爆発限界	:測定データなし
発火性(自己発火性・水との反応性)	:測定データなし
酸化性	:データなし
自己反応性・爆発性	:なし
粉塵爆発性	:なし
安定性・反応性	:通常の保管においては安定である。
その他	:有用な情報なし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

皮膚腐食性	:情報なし。
刺激性(皮膚、目)	:皮膚刺激性あり。眼に入った場合刺激がある。
感作性	:情報なし。
急性毒性(50%致死量等を含む)	:経口急性毒性推定値 3610mg/kg 経皮急性毒性推定値 データなし 吸入急性毒性推定値 20mg/L 以上
亜急性毒性	:データなし
慢性毒性	:測定データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:測定データなし
生殖毒性	:測定データなし
催奇形性	:測定データなし
その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)	:なし

12. 環境影響情報

分解性	:測定データなし
蓄積性	:測定データなし
魚毒性	:測定データなし
その他	:pHの排水基準あり

13. 廃棄上の注意

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた処理認定業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 10,12,13,14 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律(第 2,3,10,12,16 条など)
- 廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令(第 1,6,7 条など)

14. 輸送上の注意

直射日光を避け、容器の漏れが無いことを確認し、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法・有機則	:該当せず
消防法	:危険物第4類第3石油類に該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	:該当せず

16. その他情報

本データシートは製品の安全情報を記したものです。品質に関しましては仕様書等をご参照下さい。

引用文献

- “米国 OSHA 危険有害性の周知基準(第5版)” JETOC(1995)
- “危険物ハンドブック” ギュンター・ホンメル編 シュブリンガー・フェアラー東京(1991)
- “事業者向け GHS 分類ガイダンス 平成 25 年度改訂版” 経済産業省
- “職場の安全サイト” 厚生労働省